



お知らせ

資料提供先：鳥取県政記者会、鳥取市政記者クラブ

とっとり とよおか みやづ とっとり ふくべ
**鳥取豊岡宮津自動車道（鳥取～福部）の検討内容を
分かりやすく紹介するオープンハウスを開催します**

鳥取豊岡宮津自動車道（鳥取～福部）の道路の計画検討では、昨年実施した第1回アンケート等において、地域の課題、道路に求める役割・機能についてみなさまから多くのご意見を頂きました。頂いたご意見もふまえ、複数のルート帯（案）を検討しています。

第1回アンケート調査等でみなさまから頂いたご意見の概要を紹介するとともに、3つのルート帯（案）を説明するオープンハウスを開催します。



【開催日・会場（1回目）】

○日時：平成31年2月13日（水）、14日（木）
10:00～17:00

○会場：鳥取市駅南庁舎1階 エントランスホール

【開催日・会場（2回目）】

○日時：平成31年3月1日（金）～4日（月）
10:00～17:00 ※土日も開催します

○会場：イオンモール鳥取北 モール棟1階通路

会場には職員が常駐し、3つのルート帯（案）やアンケートの回答について直接説明を聞いたり、質問したりすることが出来ます。

ご不明な点がありましたら、お気軽に職員へお声かけください。



← 昨年のオープンハウスの様子

会場位置図



問合せ先： 国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所 TEL：0857-22-8435（代表）
副所長（道路） 姫村 幸造 【担当】計画課長 浅井 順一
ひめむら こうぞう あさい じゅんいち

鳥取豊岡宮津自動車道（鳥取～福部）ポータルサイト
<http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/road/tottorifukube/index.html>



鳥取豊岡宮津自動車道(鳥取～福部)は、山陰道・鳥取自動車道・ しちやま 駈馳山バイパスを結ぶ区間です

鳥取豊岡宮津自動車道は、鳥取県鳥取市を起点とし、京都府宮津市を終点とする延長約120kmの地域高規格道路です。このうち、鳥取～福部間は、その最西端の鳥取市内の市街地に位置し、高速道路ネットワークを結ぶ道路です。



検討の進め方

鳥取豊岡宮津自動車道(鳥取～福部)の検討は、段階を踏んで進めていきます

鳥取豊岡宮津自動車道(鳥取～福部)の検討は、段階を区切り、道づくりの検討を進めています。

検討の各段階で、みなさまとの情報共有やご意見をおうかがいする場を設け、一緒に考え、検討していきます。

有識者委員会
提案助言

計画検討の流れ(案)

課題・ニーズの把握と道路計画の必要性の確認

地域・道路交通の課題と道路に求める機能を把握し、道路計画の必要性を確認します。

<情報提供>

計画の目的、地域や道路交通の状況を提示します。
[オンラインハウス、ニュースレター、ポータルサイト]

<意見把握>

課題や計画の必要性に関する意見、道路整備にあたってのアイデアや配慮に関する意見を把握します。
[アンケート、ヒアリング、ワークショップ]

現在はこの段階です

複数案の設定と評価項目の設定

複数のルート帯案を検討のたたき台として提示します。
市民等のみなさまの懸念やニーズを把握し計画検討に反映させます。

<情報提供>

複数のルート帯(案)と各案の評価ポイント(案)を提示します
[オンラインハウス、ニュースレター、ポータルサイト]

<意見把握>

計画を検討する上でのニーズ・懸念など重視すべき事項を把握します。
[アンケート、ヒアリング、ワークショップ]

複数案の比較評価

市民等のみなさまのご意見を反映した比較評価(案)を提示します。
各案に対する期待や懸念をお聞きます。

<情報提供>

<意見把握>

みなさまのご意見を踏まえ、「概略計画」をとりまとめます。

市民・道路利用者のみなさま

【アンケート調査を実施中です】

地域のみなさまのご意見を道路の計画検討に反映するために第2回アンケートを実施中です。アンケートには下記のいずれかの回答方法でご回答いただけます。より多くのみなさまのご意見をお待ちしております。

■ 実施期間：平成31年3月15日(金)まで(消印有効)

■ 回答方法

- ご自宅*へ届くアンケートの回答はがきをポストへ投函
- ホームページ上のWEBアンケートフォームから回答⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒
- 道の駅や観光地、自治体等に設置する回答はがきを回答箱へ投函

* 鳥取市のうち、旧鳥取市及び旧福部村にお住まいの方へ2月下旬から郵送配布します。

WEBアンケートは
こちらから



鳥取～福部の対策案について、3つのルート帯(案)を検討しています

- 東側区間は、アクセスコントロールされた国道9号鳥取バイパスを活用する。
- 西側区間は、既成市街地への影響を最小限に抑えながら、政策目標の達成を考慮し、以下の対策案を検討する。

【案①】 市街地を回避し、主要拠点へのアクセス性に優れた 全線バイパス案

○ : ルート帯(案) ●●● : 現道活用区間(案)

【案②】 市街地を回避しつつ、整備区間を極力最短で結ぶ 部分バイパス+現道立体化案

○ : ルート帯(案) ●●● : 現道活用区間(案)

【案③】 走行性の高い既存道路を活用する 部分バイパス+現道活用案

○ : ルート帯(案) ●●● : 現道活用区間(案)

凡例 (交通課題箇所)	
●	主要渋滞箇所
○	主要渋滞区間
×	死傷事故率の高い箇所
凡例	
—	高規格幹線道路
—	直轄国道
—	主要地方道
—	一般県道
—	その他道路
—	鉄道

凡例	
●	役所・支所、官公施設
●	学校
●	医療機関
●	人口集中地区 (H27)
●	遺跡・文化財
●	神社仏閣・宗教関連施設
●	広域防災拠点
●	海岸・公園
●	河川・池
●	物流拠点
●	交通拠点 (空港・港湾)
●	主要観光拠点
■	高次医療施設

※ルート帯(幅500m)に含まれるコントロールポイントは詳細ルートの検討時に配慮する

